

# SDR法の概要と実施手順



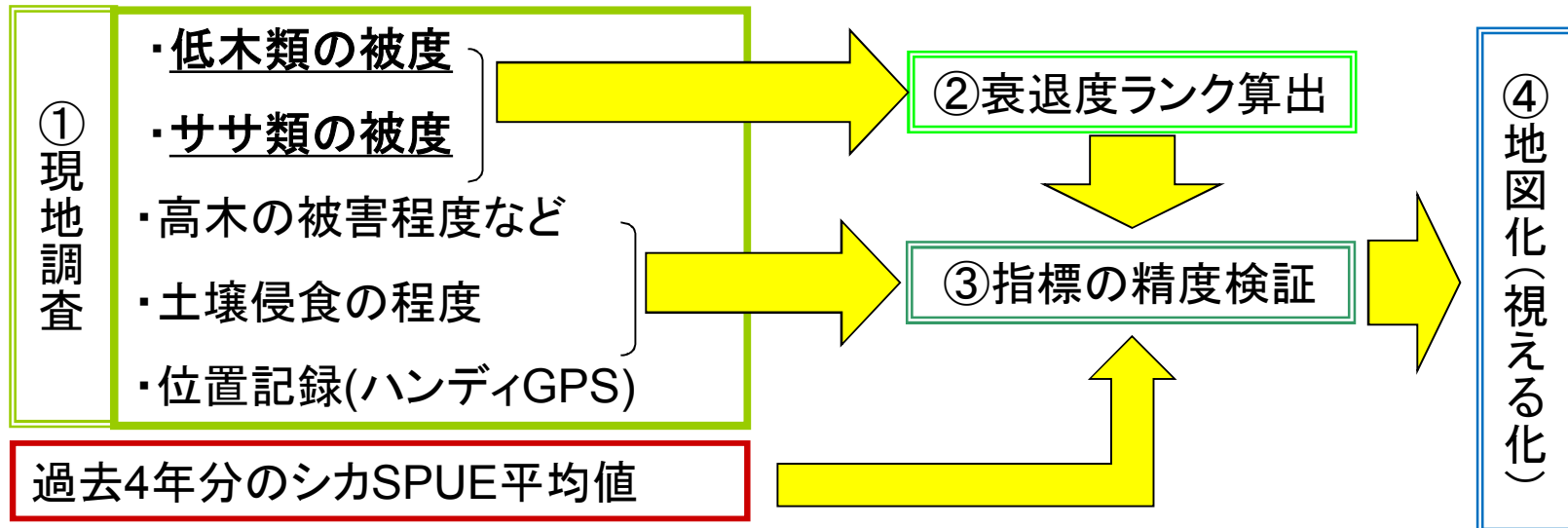
下層植生衰退度ランク\* : SDR  
(Shrub-layer Decline Rank)

ND D0 D1 D2 D3 D4

被害無 小 中 大

目視を基本とした簡易調査を広域多地点  
(県レベル、100地点以上)で実施

## <研究の手順>



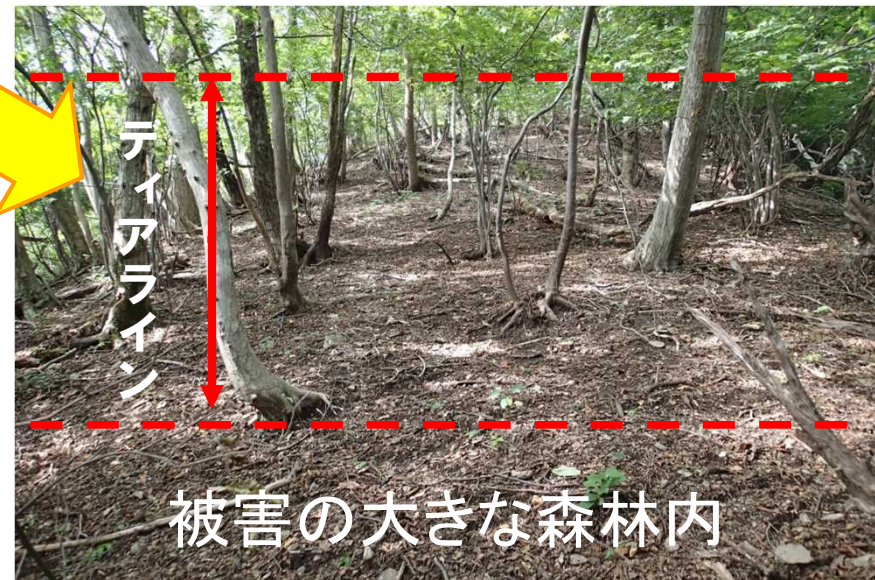
\*調査方法の詳細については兵庫県森林動物研究センターHPの「ワイルドライフモノグラフ4号」を参照

## ニホンジカによる森林被害は予想以上に進んでいる

日が当たる林縁には下草が青々と茂っており、森の外から見ただけではシカの被害は分からない。



被害の小さな森林内



ディアライン

被害の大きな森林内

※ディアライン(Deer Line)

シカの口が届く1.5~2m以下の植物が無くなっている状態

# 被害の程度の違いと森林内の下層植生の状況

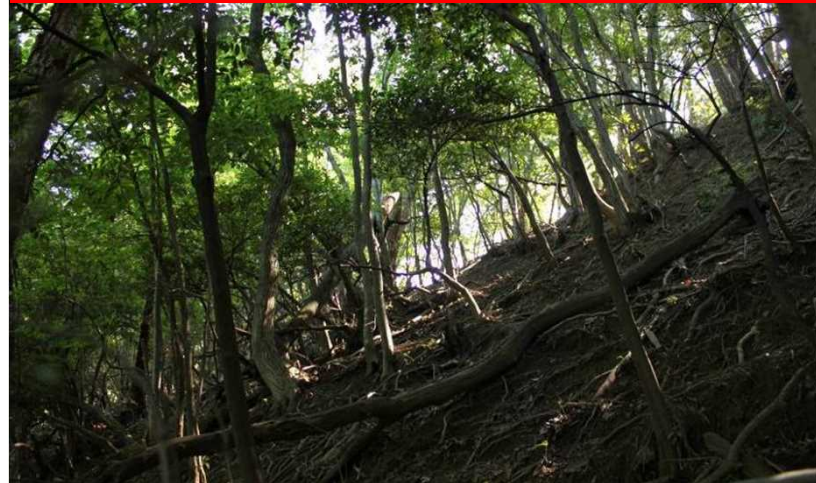
被害小：低木やササが繁茂



被害中：ササの衰退



被害大：ディアライン形成



被害大：不嗜好性植物優占

